

6・5 国鉄大集会へ結集しよう

5・20三里塚闘争弾圧粉碎!
闘う労働運動と学生運動の力で、
今も不当逮捕・取り調べと闘う

38人の釈放を!

◆38人の不当な長期勾留に抗議する

5月20日に、東京高裁内で三里塚闘争(成田空港反対闘争)を闘う50人の仲間が不当逮捕され、今なお38人の勾留と転向強要の取り調べが続けられています。断じて許すことはできません! 今すぐに釈放せよ!!

◆今こそ闘う労働組合を甦らせよう

私たちは第一に、この弾圧を粉碎するためにも、闘う労働組合を甦らせよう、何よりも6月5日に動労千葉(国鉄千葉動力車労働組合)が中心となって全国に呼びかけている国鉄大集会に集まろうと訴えます。

福島原発事故も、三里塚(成田)における農民殺しの空

港建設も、そして今青年・学生に襲いかかる大失業も、根源は1980年代以来の新自由主義攻撃にあります。新自由主義は国家・資本への規制を緩和することと一体で、労働組合とその団結をバラバラに解体してきました。その頂点にあったのが、1987年の国鉄分割・民営化(JRへ

全学連

全日本学生自治会総連合(織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp

<http://www.zengakuren.jp/>

新自由主義・震災解雇と闘う6・5大集会へ!

【集会要項】

- 日時 6月5日(日)午後1時 ※正午開場
- 場所 東京・日比谷公会堂(日比谷公園)
- 主催 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

→nationwidemovement@yahoo.co.jp

→<http://www.doro-chiba.org/z-undou/z-index.htm>

1635人が結集した昨年の6・13国鉄大集会



公務員給与スピード決着

国家公務員給与の削減をめくり、菅政権と連合系の公務員労働組合連絡会（連絡会）は23日、交渉開始からわずか10日間で決着にこぎつけた。東日本大震災の復興財源を確保したい政権側に対し、連絡会は若年層の削減幅縮小に加え、今国会中に労働基本権拡大への道筋をつけるよう求め、双方が歩み寄った。

5~10%減で合意

復興財源確保狙う

菅政権

「異例なことを政府が持ちかけた。労働組合は苦渋の選択だったと思うが、合意に非常に感謝している。23日の交渉を終えた片山善博総務相は、ほっとした表情で記者団に語った。民主党は2009年総選挙マニフェストで「国家公務員の総人件費の削減」を掲げた。しかし、菅政権は昨年、人事院勧告（人勧）に沿った削減幅の平均年間給与1・5%減しか達成できなかった。片山氏はさらなる削減を目指して今年1月ごろから労組関係者に水面下で働きかけを始めたが、難航していた。状況を一变させたのが3月の東日本大震災だ。巨額の復興財源をまかなうとの名目で削減問題が動き出した。震災復興を掲げれば労組も抵抗しづらく、マニフェスト実現に向けて大きな一歩を踏み出せる。政権にはそんな思惑があった。今回合意した給与削減は一般職の国家公務員が対象。連絡会によると、平均

■国家公務員の給与削減額

- ◆俸給月額（月給）
 - ①本省課・室長以上 10%減
 - ②本省課長補佐・係長 8%減
 - ③係員 5%減
- ◆特別調整額（管理職手当） 一律10%減
- ◆期末手当、勤勉手当 一律10%減
- ◆委員、顧問、参与の日当 一律10%減（扶養手当、住居手当などは減額の対象外）

連合系労組

「大変厳しい決断だったが、（労働）基本権の回復に向けた大きな節目の一步といえる。交渉後、連合系の連絡会の吉沢伸夫事務局長はこう強調した。連絡会は交渉に臨む際、給与削減と引き換えに協約締結権の回復を「譲れぬ一線」と主張した。1948年に連合国軍総司令部（GHQ）の指示により、公務員は協約締結権を含む団体交渉権と、スト権を制限された。代わりに人事院勧告制度がつくられたが、自ら交渉できないこ

基本権拡大へ道筋

約締結権の付与など国家公務員制度改革関連法案の成立を要求した。一律10%の削減幅を圧縮したとはいえず、人勧を経ない異例の削減を受け入れてもらう政権には大きな宿題となる。片山氏は23日、国家公務員制度改革関連法案の成立に向け、こう語った。「同時に決着がつくように最大限の努力をしたい」

5月24日付『朝日新聞』

◆聞えば勝利できる時代が来た！

第三に、だからこそ、今年2月にエジプトの労働者民衆が勇気ある行動で示したように、団結して革命を起こし、不正義を打倒し、自らの力で未来を切り開こう。

時代は「3・11」から大きく動き出しました。資本主義は激しく崩壊し、労働者の首を切り、原発事故で放射能汚染と被曝労働を強制するような資本主義のあり方そのものを変革しなければならない、多くの方がそう思い始めています。まずはその怒りを6・5に結集しよう！ 動労千葉やエジプトのように、闘ってこそ勝てる時代です。

そして、5月30日（13時、14時45分、16時半）、31日（10時半）の勾留理由開示公判にも集まってください。

◆5・29三里塚緊急現地闘争に集まろう！

5月29日（日）13時半～

成田市・三里塚、反対同盟員・市東さん宅南側の開拓組合道路に集合

◆5・28「反原発×反失業」吉祥寺デモへ

5月28日（土）18時集会開始 18時半デモ出発

井の頭公園野外ステージ→吉祥寺一周デモ

主催：吉祥寺アクション実行委員会

◆早期釈放へ救援カンパをお願いします

振込先：郵便振替「00190-0-766112」

口座名「全日本学生自治会総連合」

※必ず通信欄に「三里塚弾圧救援カンパ」とご明記ください。

の移行)です。既成労組が軒並みこれに屈服する中、動労千葉のみが1100組合員の一条乱れぬストライキによって団結を守り抜き、今も分割・民営化時の1047名解雇を許さない闘いの先頭に立っています。6・5集会は、新自由主義と断固対決し、動労千葉に続いて闘う労働組合を全国の職場に甦らせていくためにあります。労働組合が闘いの先頭に立った時、社会全体を革新する歴史的な闘いが絶対に実現できます。

◆「政治休戦」に走る連合指導部弾劾

第二に、5・20大量弾圧の本質は、三里塚の反対同盟が45年にわたって体現してきた「国家権力とは非和解」「実力闘争で勝利する」という闘魂が、原発事故や大失業に怒る青年労働者・農民と結びつくのを菅・民主党政権や警察権力が恐れたからです。

右の記事を見て下さい。菅政権の国家公務員給与削減攻撃に連合系労組が早々と屈服したことを報じています。「震災復興を掲げれば労組も抵抗しづらく、マニフェスト実現に向けて大きな一歩を踏み出せる」、「人勧に関係なく労組側と合意に達したことも政権にとって収穫」（記事本文より）。つまり、「大震災で国家も企業も大変なのだから、公務員も給与カットを認めよ」という論理を労働組合が認め、「人事院勧告なしの公務員給与削減」という、戦後労働運動史にもない、憲法（労働法体系）破壊の攻撃に屈したということです。これほどふざけた話があるでしょうか！ これは、「原発事故＝大震災なのだから電気料値上げも増税も首切りも全部認めよ」という攻撃を労働組合自身が認めるのと同じではありませんか。どこまで腐りきっているのか。こんなことがまかり通れば、国家と資本と労働組合幹部だけが潤って生き延び、私たち労働者・学生・農民は生きていくことすらできなくなります。「原発推進」すら掲げてきたような連合指導部を打倒し、闘う労働組合のもとにフクシマをはじめすべての怒りを結集させること、これが6・5集会の目標です。



革命を実現したエジプト労働者民衆の闘い（タハリール広場）